

六ヶ所村長が自殺

村内の林に遺体

3回目聴取の直前

六ヶ所村発注公共
工事に絡む現金授受
疑惑がとりざたされ
ていた橋本寿村長



聴取を終え帰宅した橋本村長(右) 17
日午後11時30分ごろ



橋本寿村長

(54)が、十八日午前九時ごろ、六ヶ所村内の林で首をつり自殺しているのが発見された。橋本村長は十六日に約十五時間、十七日に約十時間半と二日連続で長時間にわたる異例の事情聴取を受けていた。十八日も三度目の事情聴取を求められていた。橋本村長の自殺により、疑惑

解明への道は閉ざされた。橋本村長は十七日午後十一時半、二度目の事情聴取を終えて帰宅。関係者の話によると、十八日早朝、橋本村長と同室で眠っていた家族が目を覚ましたところ、橋本村長の姿が見えなくなっていたという。橋本村長は村発注

公共工事に關し、指名競争入札での参加業者の指名、請負契約締結などの職務を統括管理していたが、一九九九年十二月、同年十一月に落札した無線放送施設デジタル化工事の指名競争入札で落札、有利な取り計らいを受けたことへの謝礼などの趣旨を知りながら、村内の自宅、野辺地町の電工業者「奥羽電機工業」元社長小坂治(60)と天間林村汚職事件の贈賄罪で公判中から現金数百万円を受け取り、村長の職務権限に關してわいろを受け取った疑いがもたれていた。